

## 小学校英語教育の“開国”に向けて 越河小学校で英語活動の公開研究会

11月10日、越河小学校（澁谷榮昭校長）で英語活動の公開研究会が行われ、県内の教育関係者や学校関係者など約200名が、同校で先進的に行われている英語活動について学習しました。同校は平成19・20年度、県教育委員会から小学校における英語活動と、国際理解教育の拠点校に指定されています。「どの小学校でも楽しくできる英語教育活動」をモットーに取り組んできた同校。研究会では、外国語指導助手（ALT）や地域・保護者などと一緒に英語を教える授業が学年別に公開され、参加者は真剣なまなざしで、その様子を見つめていました。



▲低学年の授業では、ALTと一緒に英語ダンスを披露

## 響け！ 感動のハーモニー みやぎミュージックフェスタ2008in白石



▲白石キューブ合唱団とジュニア合唱団のステージ

11月30日、ホワイトキューブで「秋おくる 響け 白石 キラリ」みやぎミュージックフェスタ2008in白石が開催されました。

宮城県芸術協会と宮城県文化振興財団、そして白石市文化体育振興財団の共催により開催されたこのコンサートは、地域に根ざした音楽活動を地道に行っている皆さんの成果を披露する場として、毎年県内各地で開催されています。約400人の聴衆がコンサートホールに詰め掛け、秋空のような澄みきった歌声がホールに響きわたりました。

## 地域、そして「人と人とのつながり」を大切に 澄書道塾で慈善活動のフリーマーケットを開催



▲子どもたちの笑顔と笑い声がこだました会場

11月30日、東大畑地内の書道塾「澄書道塾」が、開塾30周年・移転20周年を記念した慈善市を開催しました。

慈善市には、たくさんの塾生とその父兄が参加し、がん具やお菓子、衣類などを出品したほか、カレーライスやたこ焼きなども提供。会場は地域の皆さんや、塾の関係者などで大変にぎわいました。数々の優秀な塾生を輩出してきた同塾の佐久間玉流さんは、「子どもたちには物を売る大変さも学んでほしいです。たくさんの方にお越しいただいて本当にうれしいです」と一言。売上金の一部は、福祉に役立ててほしいと、市に寄付されました。

## 低年齢化の進む深刻な事態に、子どもたちに警鐘 白川中学校で薬物乱用防止教室

12月4日、白川中学校（坂内玲子校長）で白石益岡ライオンズクラブ（佐竹利会長）主催の薬物乱用防止教室が開催されました。同クラブでは本年度、主に市内の小中学校や高校で、若い世代に薬物の恐ろしさと危険性を理解してもらおうと、この教室を開催しています。

この日も全生徒44名を前に、富岡和弘さんが、ビデオやスライドを使いながら分かりやすく説明。「危険薬物は、一度使うと元には戻りません。何十年か後に、皆さんが全員、また再会できるように、決して手を出さないで」という言葉を、生徒たちは心に焼き付けていました。



▲危険薬物の恐ろしさについて熱弁を振るう富岡さん

## 本場の味を教えてください！ 国際料理講習会

11月10日、毎年恒例となっている国際料理講習会が、中央公民館で開催されました。主催は白石市国際交流協会（亙理昭太郎会長）で、ボランティアやまぶき会（佐藤元子会長）の皆さんの協力で開催しています。

今回の先生は、東北大学に台湾から留学中の楊淑雲さんです。約20年前にも5年間の留学経験があり、台湾では大学の先生であり家庭では主婦でもある楊さん。参加した20名の、主婦の皆さんの見事な手際に感心しながら、台湾風焼きビーフンと骨付き肉大根スープの作り方を流暢な日本語で説明していました。



▲料理の話に花が咲いた講習会

## 地域で手作りの世代間交流！ 第5回寿山会館まつり



▲昆虫の竹細工に見入る子どもたち

11月22・23日の両日、寿山自治会館で、5回目となる「会館まつり」が開催されました。

このイベントは、地域における世代を超えた交流を図り住み良い地域を目指そうと、自治会館の新築をきっかけに始まりました。主催は会館まつり実行委員会で、平成16年から毎年開催しており、今年で5回目となります。

会場には、写真や絵画、白石和紙で作った人形など自治会の皆さんが精魂込めた作品約120点が所狭しと展示されました。23日にはもちつきも行われ、大人も子どもと一緒に楽しんでいました。

## ボランティア活動で社会参画への第一歩 福岡中学校の1年生が福祉施設で清掃奉仕作業



▲黙々と窓ガラスの清掃を行う生徒たち

11月19日、福岡中学校（佐々木泉校長）の1年生57人が、社会福祉法人伯和会の運営するケアハウスやまぶき（福岡蔵本）で清掃奉仕作業を行いました。同校では、奉仕活動を通じて、社会参画の第一歩を踏み出そうという「13歳の社会への架け橋づくり事業」を毎年実施しています。生徒たちは複数の班に分かれ、施設内の窓ガラス清掃やごみ拾いなどを行い、終了後は、入居者のお年寄りに合唱を披露するなどして楽しく交流。参加した生徒の一人は「入居者の方に、少しでも気持ちよく過ごしてもらえればうれしいです」と話していました。

## 「できることから、大人から」を合言葉に 青少年健全育成白石市民のつどい

11月15日、中央公民館大ホールに約260人を集め、平成20年度の青少年健全育成白石市民のつどいが開催されました。

今回は、ケータイ安全教室の第2弾と題して、全国Webカウンセリング協議会理事長の心理学博士の安川雅史さんが講演を行いました。テレビやラジオをはじめ、新聞や雑誌などで、ネットいじめや不登校、ひきこもり問題に取り組む安川さんの、実際にあった事例から子どもを守るためにできることのお話に、参加者たちは真剣に聞き入っていました。



▲熱のこもった講演を行う安川さん